

AMD A現地へ出発



パキスタンに向け出発する佐伯さん
(右)とヴィーラヴァグさん

洪水などで二百人以上死亡したパキスタン南カラチの被災者支援のため、国際医療ボランティアAMD A (本部・岡山市榑津)は二十八日、調整員佐伯美苗さん(三九)同市と同ニティアン・ヴィーラヴァグさん(三八)同市を派遣し

た。

この日、二人は岡山空港から經由地東京に向かい、二十九日に出発。被災状況を視察し、食料品や日用品、医療に関する住民のニーズを調査する。佐伯さんは「情報が交錯しているので、どういふ物資や専門家が必要なのかを見極め、現地の団体と連携して必要な支援をする」と話した。

(水嶋佑香)

AMD Aなど 配分先に決定

ボランティア貯金

日本郵政公社は二十八日、本年度の国際ボランティア貯金の配分先に、中国地方では四団体六事業(三千八百十五万二千円)を選んだ。

岡山県関係は二団体。

国際医療ボランティアAMD A (岡山市榑津)が行うミャンマーでの母子栄養改善支援事業に八百三十四万円、ジブチでのHIV・結核予防教育や栄養改善指導事業に二百四十五万二千円。カンボジアで教育支援をしているNGOザ・トゥース・アンド・トゥース(同)に八百二十万七千円が配分される。(川中満仁)